



配信先：大阪科学・大学記者クラブ、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ

2025 年 10 月 16 日

大阪公立大学

森之宮キャンパス開設記念イベントシリーズ ～地域と共生する次世代型都市キャンパス～

良好な交通アクセスかつ大阪の東西都市軸の東部重要拠点である森之宮に立地するメインキャンパスとして、2025 年 9 月 24 日（水）に大阪公立大学森之宮キャンパスを開設しました。イノベーション・コアを牽引する「知の森」として、開設を記念しさまざまなイベントを開催いたします。

ぜひご取材の検討を宜しくお願い申し上げます。

1：開催時期

2025 年 10 月 18 日～2026 年 3 月 7 日（予定）

2：開催場所

大阪公立大学 森之宮キャンパス（大阪市城東区森之宮二丁目 1 番 132 号）

3：プログラム

次ページ以降をご参照ください。

4：その他

本学 Web サイトの森之宮キャンパス特設サイトに、開設記念イベント情報を掲載しております。各イベントの詳細については、内容が確定次第、順次公開いたしますのでご参照ください。

<https://www.omu.ac.jp/morinomiya/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 企画戦略課

担 当：山下・竹澤

電 話：06-6967-1847

メール：gr-kikaku-osakapv@omu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課

担 当：上野・永田

電 話：06-6967-1834

メール：koho-list@ml.omu.ac.jp

	イベント	概要	開催日	主催
1	ズービキティシンポジウム(Zoobiquity Symposium) –ワンヘルスが導く医療と獣医療の新時代–	ヒトと動物という種の境界を超え、横断的に同じ医学と捉える「Zoobiquity」の取り組み活動を広く紹介 Zoobiquity 提唱者(Barbara Natterson-Horowitz 氏・ハーバード大)ほかを招聘	2025 年 10 月 18 日(土) 9:00～18:00	獣医学研究科
2	上海社会科学院・大阪公立大学大学院文学研究科 国際シンポジウム「都市の社会空間と交流 –水都・上海と大阪を中心に」	長年、大阪や上海などの都市史に関する国際共同研究を進めてきた上海社会科学院の研究者と大阪公立大学の研究者が、「水都」を主題として双方の研究成果を交流・議論する国際シンポジウム	2025 年 11 月 1 日(土) 2 日(日)	文学研究科
3	国際シンポジウム “Phage Therapy Against Superbugs: Towards Real World Implementation”	ファージゲノムに着目した抗菌剤開発で世界を牽引する医学研究科が、ファージセラピー臨床試験のメッカである UCSD の著名な研究者を招いて開催する国際シンポジウム	2025 年 11 月 8 日(土) 10:00～12:00	医学研究科
4	在日コリアン・ミュージアム・ネットワーク・フォーラム「歴史の継承と豊かな共生の未来へ」	生野区の地域活性化の一環である大阪コリアタウン歴史資料館を中心に、全国各地の在日コリアンに関わる資料館・博物館などの展示施設の関係者たちによる取り組みを報告し交流するイベント	2025 年 11 月 9 日(日)	文学研究科
5	大阪アーバンデザイン国際フォーラム ～森之宮を“文化の森”に～	森之宮キャンパス周辺の大阪城東部地区を「イノベーション・コアゾーン」と位置づけ、地域住民や民間機関と連携しながら「大阪文化都市構想」を提案する。特に「文化の森構想」として、本を核とした文化拠点形成の可能性を探る。	2025 年 11 月 16 日(日) 13:00～17:00	観光産業戦略研究所
6	大阪公立大学・長崎大学 感染症合同シンポジウム「NEXT パンデミックに備えて ～産学官民連携の取り組み～」	国内外の感染症研究者による最新の感染症に関する研究結果と感染対策への課題を共有する。また、新型コロナウイルス感染症の経験をふまえて、次のパンデミックに備えて何をすべきかについて議論する。	2025 年 11 月 22 日(土) 23 日(日)	大阪国際感染症研究センター

7	大阪アジアラウンドテーブル 2025	アジアや世界の都市課題について、多くのステークホルダーを一同に集め、解決方法を議論しつつ、コミュニティ作りも並行して行っていく事で、大阪公立大学のアジア圏でのグローバルプレゼンスの向上を図る。	2025 年 11 月 27 日(木)	産学官民共 創推進本部
8	オープンキャンパス・ オープンファカルティイ ベント (OPC&OPF2025「よ うこそ知の森へ」 森之宮移転部局合同研 究フォーラム「冒険 知 の森へ」ほか)	分野融合連携活動の一環として、森之宮キャンパスに移転する文学研究科、生活科学研究科、リハビリテーション学研究科、国際基幹教育機構などが合同で開催する研究フォーラムをはじめ、各種のシンポジウムや文学部・文学研究科のコース・専修の見学・案内など多彩なイベントを実施	2025 年 11 月 29 日(土) 30 日(日)	文学研究 科、生活科 学研究科、 リハビリ テーション 学研究科、 国際基幹教 育機構
9	イリノイ大学ー大阪公立 大学ジョイント国際シン ポジウム(仮題)	長年国際共同研究の実績があるイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 CEAPS(アジア太平洋地域研究センター)から研究者を招聘し開催する学際融合・連携を意識した国際シンポジウム	2025 年 11 月 30 日(日)	文学研究科
10	食栄養の扉をひらく:専 門家を育てる教育・研究 の現在と未来	今後の食栄養領域をリードする特色ある研究、学科での教育の「今」と「これから」を発信するイベント 海外研究者との国際連携研究 トーク、栄養の専門家を育てる教育、卒業生との対談等の教育研究トーク、施設見学、体験コーナー等	2025 年 11 月 29 日(土) 30 日(日)	生活科学研 究科
11	第 4 回合同市民医学講 座「人生百寿時代～知っ て安心、認知症と感染症 のいま～」	人生百年時代を迎え、認知症は身近で関心の高い病となっている。また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症についての関心も尽きない。 そこで専門家による講演を開催し、最新の知見を交えながら、市民の不安や疑問に寄り添う内容を届ける。	2025 年 12 月 7 日(日) 14:00～16:00	医学部附属 病院、 大阪市立総 合医療セン ター
12	「探 Q みらいファーム Special」 OMU が拓く食と農の 未来～探 Q みらい ファームの実践から～	読売新聞大阪本社と共創した小学生向け「農業探求プログラム」である「探 Q 未来ファーム」の Special 版として、「スマート農業」の観点から「未来の農業・農学を担う人材像」を紹介し、参加者で共有する。	2025 年 12 月 20 日(土)	「探 Q み らいファーム」 運営チーム

13	リハビリテーション学で 支える地域の未来 森之宮キャンパス オープニング記念セミナー	「ライフステージに応じた Well-Bing 戦略」をテーマに、子どもから高齢者までを対象とした Well-being の実現に向けた研究成果の発信、セミナー及び教員の研究紹介、内覧会	2025 年 12 月 20 日(土) 13:00～17:00	リハビリ テーション 学研究科
14	上方文化講座 20 年の 軌跡と新舞台柿(こけら)落とし	これまでの「上方文化講座」の歩みや、文学部・文学研究科の社会貢献の取り組みを紹介し、文楽の実演、文楽技芸員であり本学客員教授である竹本鍛太夫氏、鶴澤清介氏、桐竹勘十郎氏との対談を中心に構成	2026 年 1 月 31 日(土)	文学研究科
15	シンポジウム ESG 投資 から CSV 投資へ	「社会人大学院 CSV 経営研究プログラム」を通じた社会人教育の新しいあり方、新たな産学連携の構築・促進に向けたシンポジウム	2026 年 2 月 21 日(土)	経営学研究 科
16	医獣工連携に係る国際 シンポジウム(仮題)	本学の医獣工連携の取組を世界に発信するとともに、現状と課題、将来に向けてのマイルストーンなどを国内外の著名な研究者とともに議論	2026 年 2 月 21 日(土) 22 日(日)	工学研究 科、医学研 究科、獣医 学研究科
17	博学連携シンポジウム 「豊臣時代の大坂 研究 最前線」	2026 年 NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟」を契機に、包括連携協定を結ぶ大阪市博物館機構と連携し、豊臣時代の都市大坂の最新の学術的研究と今後の可能性・課題について意見を交わす。	2026 年 3 月 7 日(土) 13:00～17:20	産学官民共 創推進室 (地域連携 センター)